



サクラ舞うふじやま公園で ❀お花見の会❀ 開催

各地に豪雪をもたらした寒さに耐えた今年の冬、室内に籠り平昌オリンピックのテレビ観戦に一喜一憂したのではないのでしょうか。2月中頃から木々には新しい芽が芽吹きロウバイ、ウメ、レンギョウなど順に咲きはじめ、ふじやま公園は春の装いを整えました。

桜は、昔から山の神が下りてくる目印の木として特別視されてきました。豊作を祈るため、神が宿る満開の桜に供えたとされるお酒も、今日では、桜を愛でながらごちそうを食べ、家族や友人と楽しいひと時を過ごすための名わき役へと変化していますが、時には本来もつ役割も思い起こしてみたいものです。



「三日見ぬ間の桜かな」と歌われたように直ぐに散ってしまうサクラです。今年はふじやま公園のお花見の会にお出かけいただき、サクラを見逃すことなく存分に楽しみましょう！

お花見の会

日時	4月1日(日) 10時~13時 雨天中止
模擬店	ジャガバター、ポップコーン、綿菓子、稲荷ずし、いそべ巻き ふじやま風茶席、梅干し、竹炭、甘酒
催し物	ふうせんパフォーマンス、キツネ踊り、紙芝居 など



「ぷらっと栄」がまとめた「まちの名人・達人」という資料がある。仕事や趣味で培った様々な特技や知識・経験をボランティアで地域に提供してくれる人たちのことで、登録されている中には公園の会員もいるし、イベントにその特技を披露してくれる人もいる。名人と呼ぶかどうかは別として、会員にも竹細工、門松作り、花壇作り、干し柿や梅干し作りなどに才能を発揮している人は多い。ふじやま公園のメンバーは多士済々。活動に大きく寄与している。それこそ達人のオンパレードだ。

◆ 穏やかな日和のもと 15周年記念式典が開催されました



もう春もすぐそこにと思わせるほどの暖かな日和となった2月15日、開園15周年を祝う記念式典が盛大に執り行われました。式典では、当会会長や栄区長などの挨拶のあと登場した獅子舞が、参加者の頭を順に噛んで回り、噛んでもらった人たちは“これで今年はいいい年になりそうだ”と大喜び。

記念式典恒例の餅つきには、区長をはじめ来賓もそろって参加してくれましたが、割り当ての20回餅をつくのはなかなか大変そう。皆さんハアハアと息を切らせていました。

◆ 手打ちそばの会 皆さん舌つづみを打ちました

2月18日(日)から25日(日)の8日間、『古民家で味わう手打ちそばの会』が開催されました。古民家主屋板の間にそば打ちの道具を設え、食事処を板の間と仏間に準備しました。1日15食と予定しましたが初日から20食以上が、2日目は30食以上と大盛況でした。7日目の鴨南蛮そば以外は盛そばでしたが、皆さんおいしいおいしいの連発でそばを打っている「そば打ち研究会」のメンバーも忙しい中に大満足でした。お客さんの中には、昔の道具昔の暮らしの学習で来園した小学校3年生のお子さんに教えられたお母さんや、近くの会社にお勤めの方など様々でした。研究会の皆さんお疲れさまでした。



古民家 Q&A 雛人形飾りの男雛の位置

Q：雛人形の男雛の位置は左右どちらが正しいのですか？

A：男雛の位置は左右何れも正しいです。大正以前の雛人形飾りは男雛が向かって右側ですが、昭和以降は男雛が向かって左側が主流となりました。



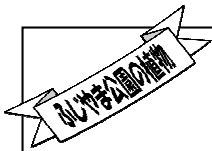
古くは「天子南面、日出る方位高し」と言われ、天子が南側を向くと左側は日の出の東になり、左手は上位であることとなります。左が上位の例として、明治以前の朝廷では左大臣が右大臣よりも高位であり、公卿のトップです。ところが昭和天皇の即位の礼の際、西洋式に従って天皇が向かって左側に立たれたことから男雛の位置が変わりました。これが東京を中心に広がり関東雛と呼ばれ、伝統を守っているものは京雛と呼ばれています。雛人形飾りにも歴史や伝統がいくつも含まれています。

《 ホームページ『本郷ふじやま公園』について 》

サーバー変更後、当公園ホームページが『本郷ふじやま公園』で検出されない事態が続いています。原因がはっきりしません。当面次の手順で検索してください。

- ① 検索サイトで『本郷ふじやま公園』を検索。
- ② 「本郷ふじやま公園 Wikipedia」を開き、右下にある「公式サイト本郷ふじやま公園」をクリック。

※ふじやま公園の URL <http://www.hongofujiyama.jp/> を入力しても開けます。



十ノハナ (菜の花)

アブラナ科

2月から出回る旬の野菜。開花時期は2月～5月頃、昔は種子から菜種油を採ったが今は見かけない。主に食用と鑑賞用として栽培。食用の菜花は花径と蕾をおひたしや和え物として食べ、独特の苦味や香りが好まれる。主な産地は千葉県や徳島県、一面に広がる黄色の菜の花畑は代表的な風物詩。切り花としても利用。



《 竹林整備(筍掘り) 》

本紙2月号のお知らせ欄で予告しましたが、春の行事の一つである竹林整備を行います。里山への竹類の浸食・繁茂を防ぎかたの姿に保持する目的で、随時孟宗竹などの伐採を行っています。竹林整備の一環として筍掘りを行います。

日 時：4月15日(日)9時30分～12時 雨天中止

場 所：公園内の竹林 炭焼き広場 作業内容：竹林整備(筍掘り)

申込み：往復ハガキにて、1枚のハガキに4名まで申込み可

締 切：3月23日(金)定 員：100名 小学生以上



『いろり辺雑記』 から (原文のまま)

ふじやまだよりを読んで、「古民家で味わう手打ちそば」を楽しみにしていました。初日に来ました。2月の古民家は寒い。そんな中、そば打ちの皆さんが大忙しに行ったり来たり。テーブルを囲んで知らない者同士が、お蕎麦を話題に盛り上がりました。この一定の細さの技術は機械並み、と絶賛。是非、地域にも出前講座を。(区内 60歳代 ひとりで)



平成30年4月度ボランティア活動予定

部会・事項	日 程	部会・事項	日 程
事務局会議	6日(金)	古民家歴史部会 部会	8日(日)
農芸部会 部会	16日(月)	古文書解読勉強会	休みます
作業	月曜日 木曜日	歴史探訪	4日(水)
里山部会 作業	14日(土) 21日(土)	クリーンアップ	3日(火) 17日(火)
	22日(日)	広報部会	
工作棟部会 部会	25日(水)	ふじやまだより編集会議	7日(土)
子ども工作準備	適時	印刷	14日(土)
囲炉裏守 囲炉裏焚き	当分の間 休みます	ホームページ制作打合せ	29日(日)

登録ボランティアを募集しています。公園事務所(TEL 045-896-0590)へご連絡ください。

体験教室のお知らせ

手づくりをお楽しみ下さい。お待ちしております。

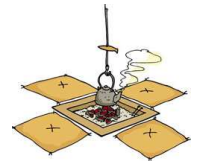
教室名	日 時	内 容	参加費	応募期限
絵手紙 (全4回)	4月10日(火)、17日(火) 5月1日(火)、8日(火) 何れも13時～16時	はがきに絵を画いて誰か友達に送ってみましょう	600円	3月27日(火) 10名
子ども工作	4月15日(日) 10時～11時	パンダの押し花カレンダー	無料	当日先着順 10名
初心者茶道 体験教室	5月19日(土) 13時～16時	四季を感じながらおもてなしの心を学びましょう	500円	4月28日(土) 5名
押し花絵	5月22日(火) 13時～16時	五月を迎え草花をデザインする	2,000円	5月15日(火) 5名
七宝焼	5月23日(水) 13時～15時	百合模様のブローチを作ります	500円	5月15日(火) 6名
パステル シャインアート	5月25日(金) 13時～15時	コットンを使ってあじさいを描きます。その他1枚 計2枚	700円	5月15日(火) 10名
里山の そば打ち塾	5月26日(土) 10時～12時30分	手打ちそばの基本を学び美味しいそばを打ち 自分で打ったそばを試食します	800円	5月11日(金) 10名

(1) 応募要領：往復はがきに、教室名(実施日も)、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、

電話番号を書いて応募期限までに本郷ふじやま公園へ

(2) 応募者多数のときは抽選

(3) 持参品：返信はがきで連絡します。



・・・お知らせ・・・

★ いろり端むかし話の会 語るもよし、聞くもよし、むかし話をお楽しみしましょう

日 時：4月19日(木) 10時30分～11時30分

場 所：古民家主屋いろり端

定 員：15名 当日参加自由 無料

★ 古民家主屋の大改修を予定しています(予告)

古民家主屋が移築されてから15年が経過し、ところどころに傷みが見え始めました。そこで逐次補修を行っています。すでにお気付きのことと思いますが、座敷の畳替えや襖の張替えを行いました。更にかやぶき屋根の葺替え、土間の修理、一部建具の補修などを今年秋から冬にかけて行う予定です。仮設工事や工事実施で主屋内の一部見学できなくなるかもしれません。詳細はいずれお知らせしますが、あらかじめご承知ください。

★ 2月ふじやま公園来園者数 2,859名 29年度累計 20,953名

・開 館 時 間：	9時～17時
・入 館 料：	無 料
・休 館 日：	毎月第1水曜日(4月4日)
・ク リ ー ン ア ッ プ：	毎月第1・3火曜日 10時～11時(4月3日・17日)

本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20

TEL：045-896-0590

FAX：045-896-0593